

第8波到来に伴う感染予防徹底のお願い

新型コロナウイルス感染症については、10月下旬から感染が全国的に急拡大しており、第8波が到来したと言えます。

本市でも、11月1日以降、一日平均50件(11月16日時点)の感染者が発生しており、現時点では、特に、若い世代の感染事例が多い傾向にあります。

これから、年末にかけて、イベントや懇親会、旅行や帰省等で、人と人との接触や移動・交流の機会が増加してまいりますと、新規感染者数がさらに増大し、地域医療体制の逼迫や社会経済活動にも影響を及ぼすことが懸念されます。

第7波では、職場、学校・保育所等の集団感染や家庭内感染等の増大を起因として一挙に感染者数が増加し、社会活動全体が長期的に多大な影響を受けました。

今年は、インフルエンザとの同時流行も懸念されておりますことから、感染者数が増えますと、医療機関の負担がさらに増大し、医療崩壊といった危機的状況に陥ることも懸念されております。

市民の皆さん、事業者の皆さんには、これまでも、感染予防の取組に継続してご協力いただいておりますが、過去の感染拡大を教訓として、今一度、お守りいただきたい感染予防のポイントを以下にまとめましたので、一層、感染予防の意識を高めていただくとともに、地域医療と大切なご家族やご友人等の命と健康を守るための行動に、ご協力をお願い申し上げます。

<ご協力をお願いしたい感染予防のポイント>

○基本的な感染防止対策の徹底

- ▶飛沫を意識してメリハリのある「マスクの着用」を
- ▶会食の際は「黙食」と「マスク会食」の徹底を
- ▶会話の際は十分な距離を確保し「マスク着用」を
- ▶寒くてもエアロゾルや空気の流れを意識した「こまめな換気の徹底」を
- ▶「丁寧な手洗い」と「手指消毒」の徹底を

○高齢者等を守るために、うつさない、拡げない

- ▶高齢者と会う際はマスクの着用を
- ▶帰省の前には積極的な検査や体調の確認を

○大人数での会食、換気の悪い場所での活動を控えて

○体調が悪い時は、外出・出勤・登校を控えて医療機関へ受診を

○早めのワクチン接種で発症・重症化リスクの低減

○新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別は絶対やめて

令和4年11月18日

名張市長 北川 裕之